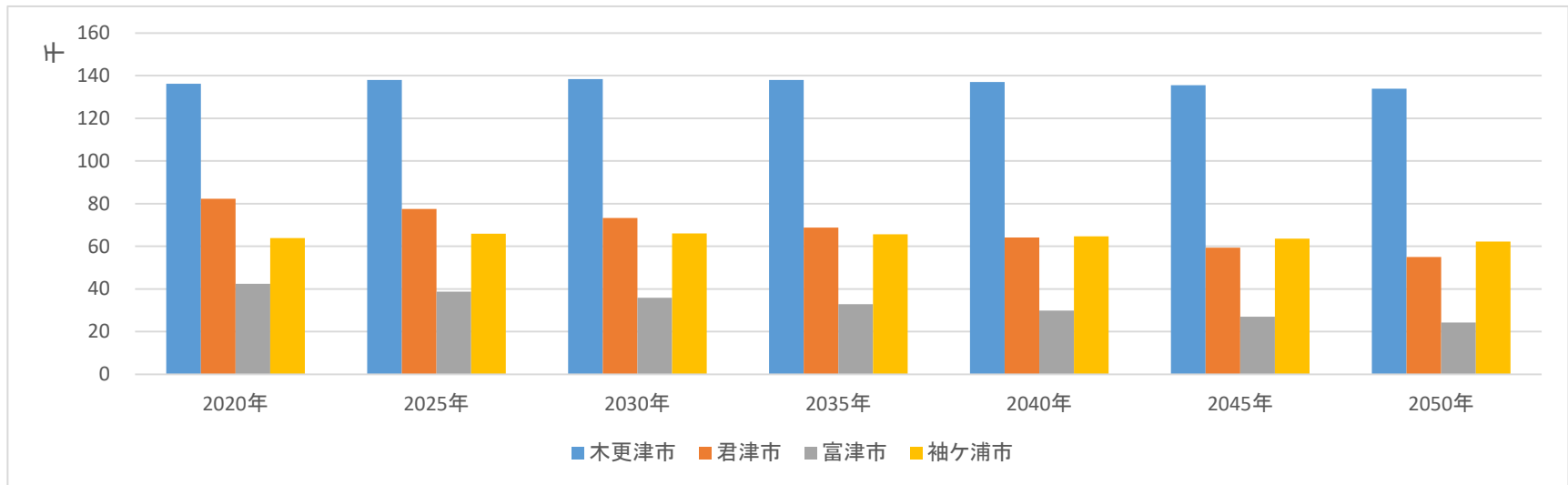


# 将来推計人口・総計 (出生中位・死亡中位仮定による推計値)

- 2040年には君津医療圏の総人口が30万人を切る。
- 木更津、袖ヶ浦の人口は横ばいが続くが、君津、富津では減少傾向にある。

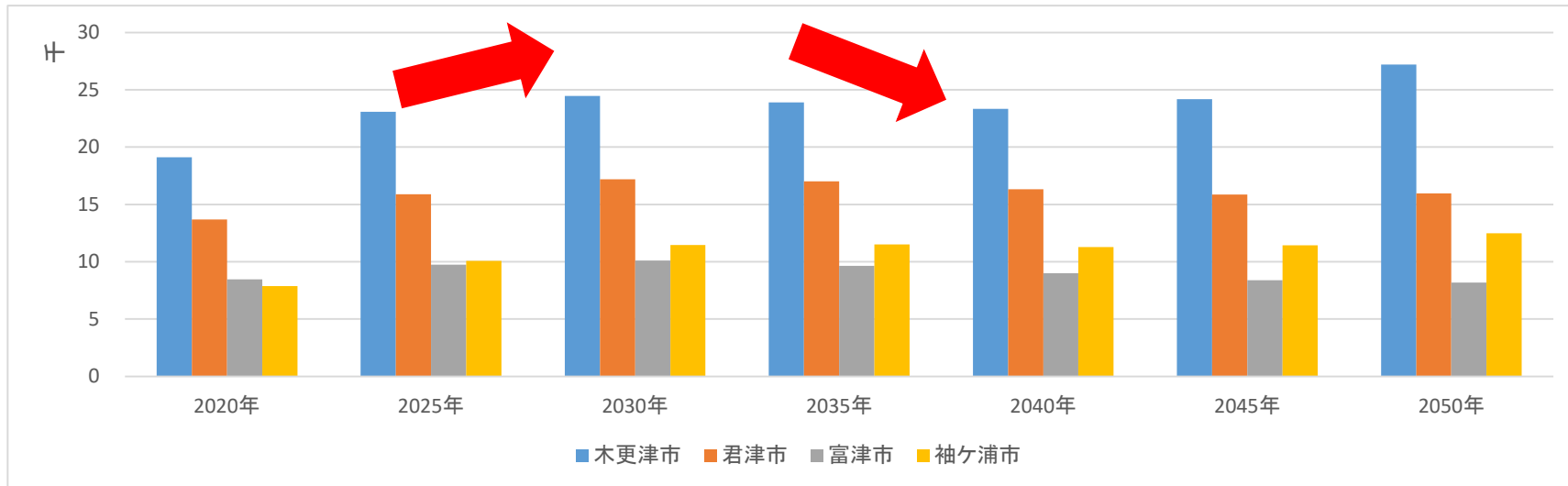


(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
木更津市	136,166	137,970	138,409	138,027	136,987	135,565	133,860
君津市	82,206	77,472	73,295	68,770	64,055	59,401	54,982
富津市	42,465	38,765	35,838	32,832	29,823	26,931	24,286
袖ヶ浦市	63,883	65,953	65,996	65,580	64,693	63,532	62,246
総計	324,720	320,160	313,538	305,209	295,558	285,429	275,374

# 将来推計人口・75歳以上 (出生中位・死亡中位仮定による推計値)

- 75歳以上人口は2030年にピークを迎え、その後は減少する
- 特に木更津、袖ヶ浦では75歳以上人口の増加率が高い



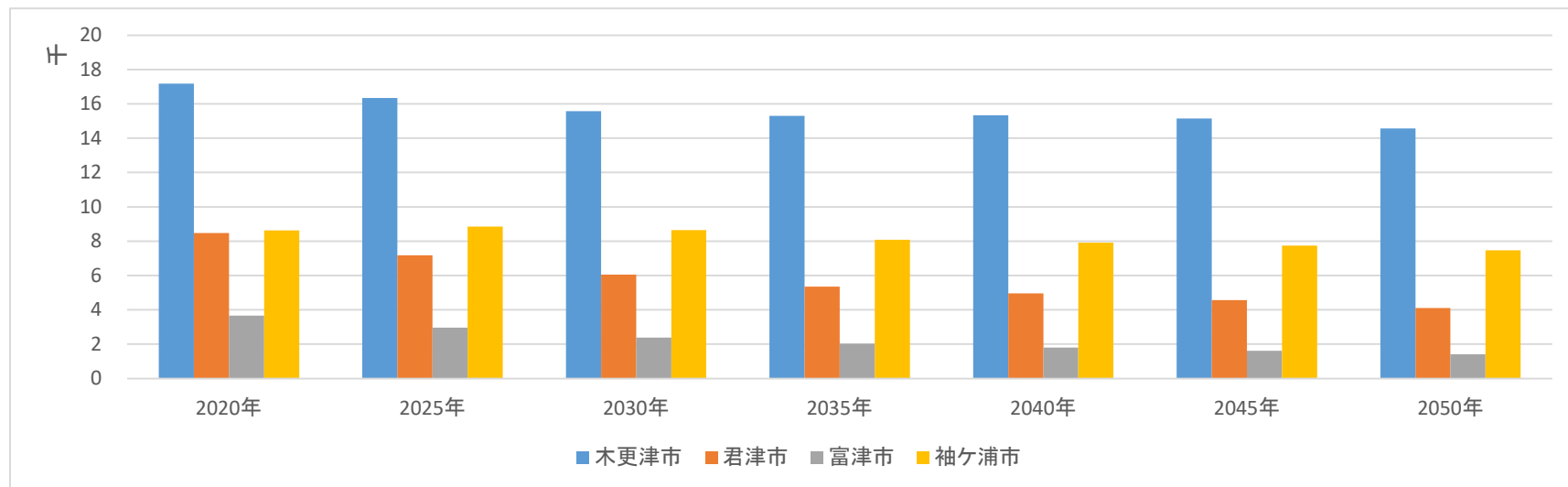
(単位: 人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
木更津市	19,109	23,082	24,463	23,908	23,338	24,188	27,193
君津市	13,676	15,885	17,203	17,011	16,333	15,861	15,971
富津市	8,453	9,756	10,097	9,633	8,991	8,380	8,180
袖ヶ浦市	7,877	10,077	11,455	11,518	11,275	11,439	12,494
総計	49,115	58,800	63,218	62,070	59,937	59,868	63,838

# 将来推計人口・小児（15歳未満）

(出生中位・死亡中位仮定による推計値)

- 小児人口は総人口より減少率が大きく、2035年には2020年比で2割減となる
- 君津、富津では小児人口が大きく減少する



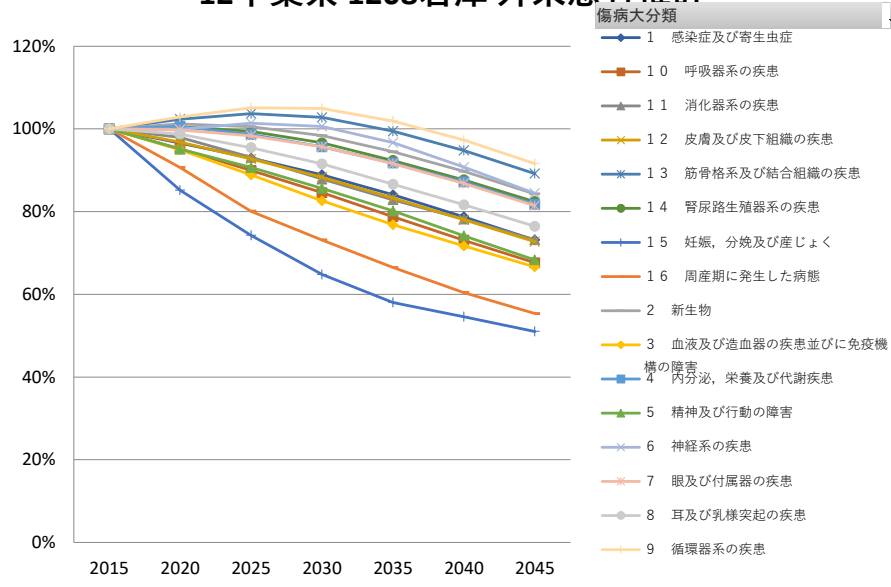
(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
木更津市	17,175	16,346	15,566	15,301	15,344	15,143	14,566
君津市	8,474	7,170	6,056	5,354	4,964	4,561	4,105
富津市	3,670	2,963	2,377	2,028	1,808	1,610	1,406
袖ヶ浦市	8,624	8,844	8,638	8,082	7,919	7,742	7,466
総計	37,943	35,323	32,637	30,765	30,035	29,056	27,543

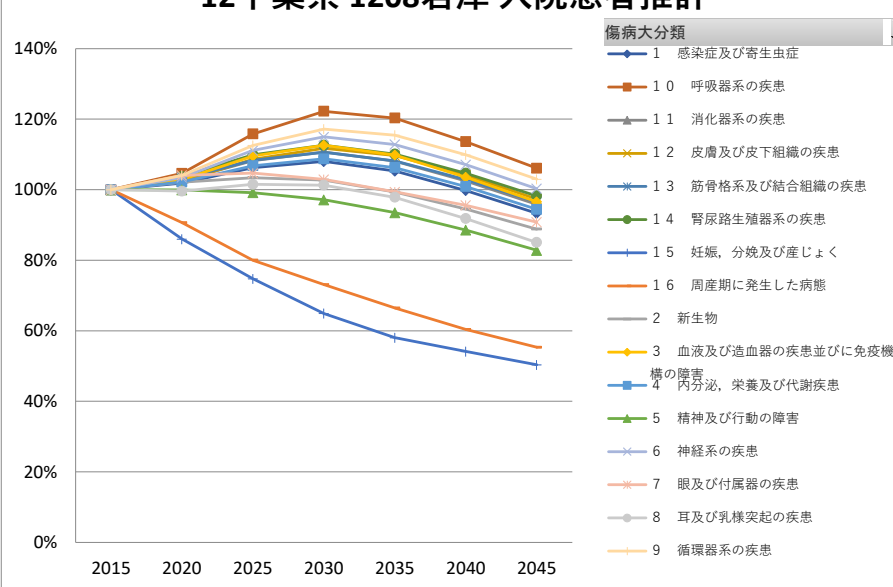
# 患者推計

- 外来は循環器、筋骨格系、神経系は2030年ごろまで横ばいが続くが、周産期、呼吸器系等は減少する
- 外来と比べ、呼吸器、循環器系の入院需要が高まるが、2030年以降は減少する

12千葉県 1208君津 外来患者推計



12千葉県 1208君津 入院患者推計



### 3 各構想区域の実情（8）君津【1. 医療需要】

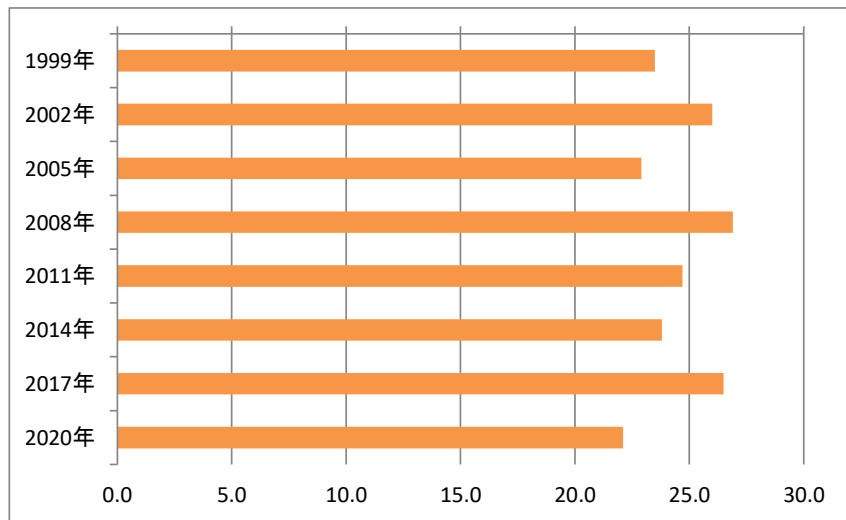
## 入院患者の流出入率

※患者調査は都道府県、二次医療圏単位の公表  
 ※各市町の流出入率はKDBデータが必要となる

- これまで流出率は流入率を上回っている
- 近年、外部医療圏への流出率とともに、外部医療圏からの流入率が低下している

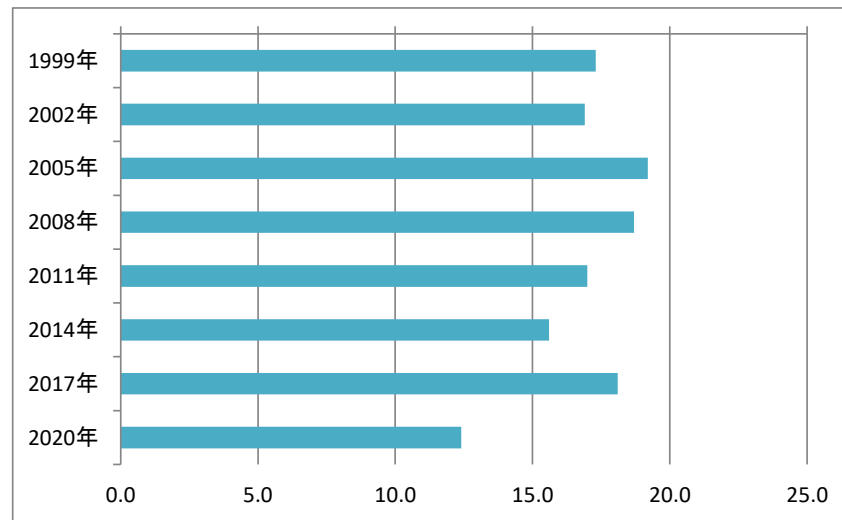
〔流出率〕

単位：%



〔流入率〕

単位：%



単位：%

1999年	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2017年	2020年
23.5	26.0	22.9	26.9	24.7	23.8	26.5	22.1

単位：%

1999年	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2017年	2020年
17.3	16.9	19.2	18.7	17.0	15.6	18.1	12.4

出典：患者調査（厚生労働省）

※調査対象日は、各年10月の3日間のうち、厚生労働省が医療機関ごとに指定した1日